

【脳卒中】

総合評価
A

<評価基準> A：達成している B：概ね達成している  C：やや達成が遅れている D：達成が遅れている  -：その他
---

○ 課題と取組

課題		取組	
課題1	脳卒中に係る普及啓発の取組	取組1	都民に対する脳卒中医療に係る普及啓発の推進
課題2	血管内治療を含めた救急搬送・受入体制の整備	取組2	救急搬送・受入体制の充実を図る
課題3	一貫したリハビリテーションの実施が必要	取組3	一貫したリハビリテーションの推進（再掲）
課題4	地域連携体制の構築	取組4	地域連携体制の充実

○ 各指標の達成状況

取組	指標名	策定時	目標値	実績			達成状況	出典
				2年目	3年目	4年目		
取組1 取組2	脳梗塞に対するt-PAによる血栓溶解療法の実施件数	1,175件 (平成27年度)	増やす	1,307件 (平成30年度)	1,514件 (令和元年度)	1,344件 (令和2年度)	A	【策定時】 東京都福祉保健局調べ 【1年目以降】 「医療計画作成支援データブック」厚生労働省
取組1 取組2	脳梗塞に対する血管内治療（経皮的脳血栓回収術等）の実施件数	828件 (平成27年度)	増やす	1,405件 (平成30年度)	1,604件 (令和元年度)	1,574件 (令和2年度)	A	【策定時】 東京都福祉保健局調べ 【1年目以降】 「医療計画作成支援データブック」厚生労働省
取組3 取組4	リハビリテーションが実施可能な医療機関数	運動器 892施設 脳血管 537施設 呼吸器 319施設 がん 117施設 心大血管 86施設 (平成29年9月現在)	増やす	運動器 958施設 脳血管 565施設 呼吸器 325施設 がん 131施設 心大血管102施設 (令和2年4月現在)	運動器 996施設 脳血管 582施設 呼吸器 322施設 がん 132施設 心大血管102施設 (令和3年4月現在)	運動器 1,032施設 脳血管 590施設 呼吸器 322施設 がん 130施設 心大血管108施設 (令和4年3月現在)	A	関東信越厚生局「届出受理医療機関名簿」
取組3	回復期リハビリテーション病棟の病床数	7,057床 (10万人当たり51.4床) (平成29年9月現在)	増やす	8,075床 (10万人当たり57.9床) (令和2年2月現在)	8,359床 (10万人当たり59.9床) (令和3年1月現在)	8,106床 (10万人当たり59.9床) (令和4年1月現在)	A	関東信越厚生局「届出受理医療機関名簿」

○ 事業実績

東京都保健医療計画(平成30年3月改定)及び 中間見直し(令和3年7月)の内容		事業名	事業概要	これまでの取組状況		令和3年度計画 (予算規模等)	国庫 負担
課題	取組			令和2年度実績	令和3年度実績		
<課題1> 脳卒中に係る普及啓発の取組	(取組1) 都民に対する脳卒中医療に係る普及啓発の推進	○脳卒中医療連携推進事業	○脳卒中を予防する生活習慣、脳卒中の症状、発症時の適切な対応、再発予防等についての都民、患者の理解を促進するため、ポスターやリーフレットの作成・周知、シンポジウムの開催等の普及啓発を実施する。	【脳卒中医療連携推進事業】 ○東京都の取組 ・脳卒中週間(5月25日から31日)での普及啓発(東京都広報誌、ホームページ) ・ポスターの配布 ・インターネットへの普及啓発動画等の掲載  ○二次保健医療圏ごとの取組 脳卒中圏域別検討会による普及啓発の実施(地域の住民及び医療従事者等に対するWebによる講演会の実施等)(8医療圏)	【脳卒中医療連携推進事業】 ○東京都の取組 ・オンライン市民講座「脳卒中を知ろう!」のオンデマンド配信(視聴回数488回) ・脳卒中月間(10月)での普及啓発(東京都広報誌、ホームページ、デジタルサイネージ) ・ポスターの配布 ・インターネットへの普及啓発動画等の掲載  ○二次保健医療圏ごとの取組 脳卒中圏域別検討会による普及啓発の実施(地域の住民及び医療従事者等に対するWebによる講演会の実施等)(9医療圏)	【脳卒中医療連携推進事業】 ○東京都の取組 ・脳卒中週間での普及啓発(東京都広報誌、ホームページ等) ・脳卒中普及啓発講演会(1回)  ○二次保健医療圏ごとの取組 ○圏域別検討会(12医療圏)	○
<課題2> 血管内治療を含めた救急搬送・受入体制の整備	(取組2) 救急搬送・受入体制の充実を図る	○脳卒中医療連携推進事業	○東京都脳卒中医療連携推進協議会を設置し、脳卒中を発症した患者を速やかに適切な医療機関に救急搬送できる体制を確保し、急性期から回復期、維持期、在宅療養に至るまで切れ目のない医療・介護サービスを受けられることができる仕組みを確保する。	【脳卒中医療連携推進事業】 ○東京都脳卒中医療連携推進協議会(1回) 脳卒中医療体制に関する実態調査や循環器病対策推進計画について協議  ○東京都脳卒中急性期医療機関数 164施設 ※令和3年4月1日時点	【脳卒中医療連携推進事業】 ○東京都脳卒中医療連携推進協議会(1回)※書面協議 保健医療計画の進捗管理  ○東京都脳卒中急性期医療機関数 165施設 ※令和4年4月1日時点	【脳卒中医療連携推進事業】 ○東京都脳卒中医療連携推進協議会(2回) ○脳血管内治療検討ワーキンググループ(2回)	○
		○東京都地域医療連携デジタルシステム整備支援事業	○東京都脳卒中急性期医療機関相互の円滑な連携を推進するため、デジタル技術を活用した医療情報共有ツールを導入する医療機関を支援する。	【東京都地域医療連携デジタルシステム整備支援事業】 (0施設)※新型コロナウイルス感染症の影響により整備計画の見送りに伴い減少	【東京都地域医療連携デジタルシステム整備支援事業】 (0施設)※新型コロナウイルス感染症の影響により整備計画の見送りに伴い減少	【東京都地域医療連携デジタルシステム整備支援事業】 (9施設)	-
<課題3> 一貫したリハビリテーションの実施が必要	(取組3) 一貫したリハビリテーションの推進(再掲)	○地域リハビリテーション支援事業	○おおむね二次保健医療圏ごとに指定している地域リハビリテーション支援センターを拠点に、地域において様々な形態で実施されているリハビリテーション事業を支援することによって、保健・医療・福祉が連携した地域におけるリハビリテーションのシステム化を図る。	【地域リハビリテーション支援事業】 ○地域リハビリテーション支援センター(12医療圏) ・地域リハビリテーション提供体制の強化 ・訪問・通所リハビリテーションの利用促進 ・地域リハビリテーション関係者の連携強化  【脳卒中医療連携推進事業】 ○脳卒中地域連携パスの標準様式「東京都脳卒中地域連携診療計画書」をホームページに掲載し、普及啓発を実施	【地域リハビリテーション支援事業】 ○地域リハビリテーション支援センター(12医療圏) ・地域リハビリテーション提供体制の強化 ・訪問・通所リハビリテーションの利用促進 ・地域リハビリテーション関係者の連携強化  【脳卒中医療連携推進事業】 ○脳卒中地域連携パスの標準様式「東京都脳卒中地域連携診療計画書」をホームページに掲載し、普及啓発を実施	○地域リハビリテーション支援事業 ・12医療圏	-
		○地域医療構想推進事業(施設設備整備)	○地域医療構想に基づき、病床の整備及び病床機能の転換を行う医療機関に対し、改修・改築等の施設・設備整備に要する経費の一部を補助することにより、都における病床機能分化を促進する。	【地域医療構想推進事業(施設設備整備)】 ○回復期機能の充実を図るため、回復期リハビリテーション病床及び地域包括ケア病床等の施設設備整備に要する費用について補助 ・施設(10施設) ・設備(1施設)  【地域医療構想推進事業(中小病院支援)】 ○病床機能の分化・連携や地域包括ケアシステムの構築に資する医療機能の強化に必要な施設設備整備に要する費用について補助 ・中小病院(53施設)	【地域医療構想推進事業(施設設備整備)】 ○回復期機能の充実を図るため、回復期リハビリテーション病床及び地域包括ケア病床等の施設設備整備に要する費用について補助 ・施設(10施設) ・設備(6施設)  【地域医療構想推進事業(中小病院支援)】 ○病床機能の分化・連携や地域包括ケアシステムの構築に資する医療機能の強化に必要な施設設備整備に要する費用について補助 ・中小病院(63施設)	○地域医療構想推進事業(施設設備整備) ・施設(17施設) ・設備(9施設)  ○地域医療構想推進事業(中小病院支援) ・35施設	-
<課題4> 地域連携体制の構築	(取組4) 地域連携体制の充実	○脳卒中医療連携推進事業	○地域に根ざした医療連携を展開するために、二次保健医療圏を単位とした脳卒中医療連携圏域別検討会を設置している。	【脳卒中医療連携推進事業】 ○圏域別検討会(11医療圏)において、地域の脳卒中に係る医療機能の把握と情報共有、急性期から回復期、在宅療養に至るまでの連携方法等について検討を行い、地域の取組を推進	【脳卒中医療連携推進事業】 ○圏域別検討会(10医療圏)において、地域の脳卒中に係る医療機能の把握と情報共有、急性期から回復期、在宅療養に至るまでの連携方法等について検討を行い、地域の取組を推進	【脳卒中医療連携推進事業】 ○圏域別検討会(12医療圏)	○

保健医療計画 進捗状況評価（5疾病5事業在宅）

【 心血管疾患 】

総合評価
A

<評価基準> A：達成している B：概ね達成している  C：やや達成が遅れている D：達成が遅れている  -：その他
---

○ 課題と取組

課題		取組	
課題1	心血管疾患の発症予防	取組1	発症予防のための普及啓発
課題2	都民や患者家族による応急手当の普及推進	取組2	都民や患者家族による応急手当の普及推進
課題3	速やかな初期治療の実施	取組3	速やかな初期治療の実施
課題4	早期退院の促進から重症課予防・再発予防までの継続的な支援	取組4-1	早期退院と社会復帰の促進
		取組4-2	重症化予防・再発予防のための継続的な支援

○ 各指標の達成状況

取組	指標名	策定時	目標値	実績			達成状況	出典
				2年目	3年目	4年目		
共通	虚血性心疾患患者の年齢調整死亡率（人口10万対）	男性 42.5 女性 16.0 （平成27年）	下げる	-	-	-	-	人口動態統計特殊報告
取組2	AEDマップ登録数	29,385件 （平成29年10月1日現在）	増やす	30,450件 （令和2年3月24日現在）	31,441件 （令和3年6月24日現在）	32,029件 （令和4年5月30日現在）	A	日本救急医療財団 全国AEDマップ
取組2	バイスタンダーによる応急手当実施率	29.26% （平成27年）	上げる	33.94% （令和元年）	39.56% （令和2年）	38.39% （令和3年）	A	救急災害医療課集計
取組3	東京都CCUネットワーク参画医療機関数	72施設 （平成29年10月1日現在）	維持する	74施設 （令和2年3月31日現在）	73施設 （令和3年3月31日現在）	73施設 （令和4年3月31日現在）	A	東京都CCU連絡協議会 参加医療機関数
取組4-1	退院患者平均在院日数	7.6日 （平成26年）	維持する	-	-	-	-	患者調査
取組4-1 取組4-2	心血管疾患リハビリテーションが実施可能な医療機関数（心大血管疾患リハビリテーション料I・IIの届出施設数）	86施設 （平成29年9月1日時点）	増やす	102施設 （令和2年4月現在）	102施設 （令和3年4月現在）	108施設 （令和4年3月現在）	A	施設基準届出受理医療機関名簿

※バイスタンダー：救急現場に居合わせた人



○ 事業実績

東京都保健医療計画(平成30年3月改定)及び 中間見直し(令和3年7月)の内容		事業名	事業概要	これまでの取組状況		令和3年度計画 (予算規模等)	国庫 負担
課題	取組			令和2年度実績	令和3年度実績		
<課題1> 心血管疾患の発症予防	(取組1) 心血管疾患の発症予防	生活習慣改善推進事業	都民一人ひとりが望ましい生活習慣を継続して実践し、生活習慣病の発症・重症化予防を図るため、区市町村や民間団体等と連携し、都民自らが負担感のない生活習慣の改善を実践できるよう、普及啓発及び環境整備を行います。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域における食生活改善普及事業 野菜メニュー店の普及(令和2年度末時点445店※)。 ※引き続き普及を行っているものの、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響で、全体数は減少。</li> <li>○野菜を食べる!習慣づくり 調理師団体と連携し作成した、「野菜たっぷりかんたんレシピ」を、レシピ検索サイトへ掲載。</li> <li>○あと10分歩こうキャンペーン 区市町村等が作成するウォーキングマップを特設サイトに追加・更新(令和3年度末時点50区市町村495コース掲載)。また、日常生活における階段利用等を促進。</li> <li>○健康な睡眠を得るための普及啓発事業 職域向けイベント等を通じて、「適切な睡眠の意義やとり方」等に関するパネルやポスターの展示、リーフレット配布を行い、企業経営者や人事労務担当者、働き盛り世代個人に対して、睡眠に関する正しい知識の普及啓発を実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域における食生活改善普及</li> <li>○野菜を食べる!習慣づくり</li> <li>○あと10分歩こうキャンペーン</li> <li>○健康な睡眠を得るための普及啓発</li> </ul>	-	
<課題2> 都民や患者家族による応急手当の普及推進	(取組2) 都民や患者家族による応急手当の普及推進	心臓循環器救急医療体制整備事業	救急告示医療機関の制度を補完する対策の一つとして、都内のCCU救急医療施設のレベルアップと連携体制を確立し、心臓循環器患者の救命率の向上と生命の安全を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、ホームAEDファンド、AED講習会いずれも未実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、ホームAEDファンド、AED講習会いずれも未実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ホームAEDファンドの実施</li> <li>○AED講習会の実施</li> </ul>	○
		AEDマップ適正登録緊急対策事業	日本救急医療財団が運営する全国AEDマップへの具体的な設置場所や使用可能時間等の登録を推進することでAEDマップの利便性を向上させ、緊急時に速やかにAEDを利用できる環境づくりを進めます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各区市町村に対して、区・市課長会への説明を通じて、情報登録を促進。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各区市町村に対して、区・市課長会への説明を通じて、情報登録を促進。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○区・市長会における情報登録の促進の実施</li> </ul>	-
<課題3> 速やかな初期治療の実施	(取組3) 速やかな初期治療の実施	心臓循環器救急医療体制整備事業	救急告示医療機関の制度を補完する対策の一つとして、都内のCCU救急医療施設のレベルアップと連携体制を確立し、心臓循環器患者の救命率の向上と生命の安全を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○東京都CCU連絡協議会 4回開催(書面・Web開催)</li> <li>○急性大動脈スーパーネットワーク全体会議 2回開催(書面・Web)</li> <li>○東京CCU研究会 1回開催(Web)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○東京都CCU連絡協議会 4回開催(書面・Web開催)</li> <li>○急性大動脈スーパーネットワーク全体会議 2回開催(書面・Web)</li> <li>○東京CCU研究会 1回開催(Web)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○東京都CCU連絡協議会の開催</li> <li>○急性大動脈スーパーネットワーク全体会議の開催</li> <li>○東京CCU研究会の開催</li> </ul>	-
<課題4> 早期退院の促進から重症化予防・再発予防までの継続的な支援	(取組4-1) 早期退院と社会復帰の促進  (取組4-2) 重症化予防・再発予防のための継続的な支援			<ul style="list-style-type: none"> <li>○新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、多職種向け研修未実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○東京都CCUnet心不全フォーラム1回(Web)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多職種向け研修の開催</li> </ul>	-